

たんぽぽ

1月



令和7年1月号
乳幼児教育相談室

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

年末年始は、年越しそばやおせち料理を食べたり、実家に帰省しておじいちゃんおばあちゃんに会ったり、初詣に行ったり、鏡餅や門松などの正月飾りを目にしたり、たこあげやこまで遊んだり…この時期ならではの新鮮なことや楽しいことがたくさんあったのではないかと思います。実際に見て、触れて、体験して、「あれは何だろう?」「楽しい!」「わ～きれい!」などとお子さんが感じた瞬間をキャッチして、大人も一緒にその瞬間を楽しんでほしいと思います。子どもの“心が動いたとき”に言葉は育つと言われています。ぜひ今年もお子さんと一緒にキラキラ!ドキドキ!わくわく!の日々を過ごしてください。(時には肩の力を抜いて、“ちょっと一息”の時間も大切にしてくださいね。)

今年も元気いっぱいの子どもたちに会えるのを楽しみにしています。



『話し方・聞き方のポイント』(保護者)についてお話しさせていただきます。乳幼児の時期は、コミュニケーションの基礎を築くとても大切な時期です。ぜひ参考にさせていただき、お子さんと豊かなコミュニケーションをしてください。

- ① 騒がしい場所では言葉の聞き取りが低下します。補聴器、人工内耳は万能ではありません。
しっかり聞いてもらいたい話はできるだけ静かな環境で。
- ② 話し始める前に、お子さんの注意をこちらに向けることが大切です。こちらを向いていないときは聞こえていなかったり聞き漏らしてしまったりすることが多いです。また、話し始めに身振り、表情などで合図があると分かりやすいです。
- ③ 顔を合わせ、会話の間はなるべく視線を外さないようにします。
- ④ こちらの口元や顔がはっきりと見えるように話します。まぶしいと見えにくくなるので、逆光にも注意します。
- ⑤ 話しているときは食べたり飲んだり、口元を隠したりしないようにします。
- ⑥ はっきりと、しかし普通の会話のテンポで話をします。語の音や口形がゆがまないように、口の動きを誇張しすぎたり、大声を出さないようにします。
- ⑦ 顔の表情やジェスチャーをつけることで、伝えたいことがよりはっきりします。表情豊かに話すとよいと思います。
- ⑧ 同時に二人の人が話さないように注意します。順番に話し手に注目させてから話し始めます。
- ⑨ 話したことがきちんと伝わっているのか、ただうなずいているだけか、周りの様子を見て動いていただけたか、お子さんの様子をしっかりと見極めます。必要であれば、個別に話す時間を設け確かめます。
お子さんが先生や友達の話に注意を向け、聞いて理解し行動する、という態度を育成することもとても大切なことです。それが身に付くように当相談室でも支援していきたいと思ひます。

難聴のお子さんは、聞くこと・見ることもどちらも大切になってきます。まずは、人とのコミュニケーションが楽しく、心地よくできるように、そしてそこから様々な「ことば」の理解・表出につなげられるようにしていきましょう。

★1月のグループ★

2歳児グループ : 9日(木)
16日(木)→幼稚部体験学習
23日(木)・30日(木)
0, 1歳児グループ: 15日(水)・29日(水)

★2月のグループ★

2歳児グループ : 6日(木)
14日(金)→幼稚部お遊戯会に参加
20日(木)・27日(木)
0, 1歳児グループ: 12日(水)・26日(水)
手話勉強会 : 25日(火)



※いずれも10:00~11:30